



平成27年度 さいたま市立大宮小学校 学校経営グランドデザイン

【校訓】希望 【校風】楽しい学校 【学校の木】あおぎり(青桐)

【さいたま市学校教育ビジョン】

- 4つの目標と8つの方針
- ＜基本理念＞
「知」「徳」「体」「コミュニケーション」のバランスのとれた子どもをはぐくむ。
- ＜さいたま市の目指す子ども像＞
「ゆめをもち、未来を切り拓く、さいたま市の子ども」
- 【さいたま市教育行政方針】
生きる力と希望をはぐくむ教育の推進

【学校教育の指針】

- 1 確かな学力をはぐくみ、個性を生かす教育の推進
- 2 豊かな心と健やかな体をはぐくむ教育の推進
- 3 豊かなかかわり合いを大切にする教育の推進
- 4 地域に根ざした信頼される学校づくりの推進

学校教育目標

あかるく

豊かな心

自立 感動 協調

かしこく

自ら学ぶ姿勢・確かな学力

思考 論理 意欲

たくましく

たくましく生きるための基盤

健康 忍耐 体力

＜目指す学校像＞

「愛」と「信頼」に支えられた「感動」いっぱいの学校

「安全・安心」で、教育環境が整美された学校

地域とともに歩む学校

【学校経営方針】

- 1 「あい」（愛・合い）と信頼に支えられた学校づくりを推進する。
- 2 研究や研修を深め、「自分から進んで」物事に取り組む児童の育成を目指す。
- 3 児童の人権・生命を尊重するとともに個人情報の適切な管理に配慮し、健康で安全・安心な学校づくりを推進する。
- 4 各校務分掌の協力体制の構築と情報の共有に努め、「共通理解・共通行動」「報告・連絡・相談・確認」を綿密に行い、組織的に活動する学校づくりを推進する。
- 5 法令を遵守するとともに、教職員としての使命と責任、児童や保護者から寄せられる期待を強く自覚し、「迅速・誠実・アフターケア」を旨として職務に当たる。
- 6 校舎内外の諸施設の整備と美化に力を入れ、清潔で魅力的な教育環境を実現する。
- 7 各種教育ボランティアとの連携を強めるとともに、地域や自治会等の諸活動との協力を深め、教育活動の充実と向上に生かす。

【本年度の重点】

— 「自分から進んで」物事に取り組む児童の育成 —

- | | |
|----------------------------------|----------------------------------|
| 1 学校教育目標の具現化を図るきめ細かな学年・学級経営の推進 | 6 特別支援学級「みやのこ」の指導の充実と特別支援教育体制の整備 |
| 2 「生き生きと学ぶ」主体的、創造的な学習活動の展開 | 7 学校安全ネットワーク体制の充実 |
| 3 児童一人ひとりのよさを生かし豊かな心をはぐくむ教育活動の展開 | 8 教育環境の整備と開かれた学校づくりの推進 |
| 4 児童会活動や児童の体験活動の充実 | |
| 5 児童理解を深め、一人ひとりの成長を支援する生徒指導の充実 | |

平成27年度 さいたま市立大宮小学校学校経営方針と重点

【校 訓】	【校 風】	【学校の木】
希 望	楽しい学校	あおぎり（青桐）

I 学校教育目標

あかるく (豊かな心)	かしこく (自ら学ぶ姿勢・確かな学力)	たくましく (たくましく生きるための基盤)
----------------	------------------------	--------------------------

II 学校経営方針

<目指す学校像>

- 「愛」と「信頼」に支えられた「感動」いっぱいの学校
- 「安全・安心」で、教育環境が整美された学校
- 地域とともに歩む学校

- 1 「あい」（愛・合い）と信頼に支えられた学校づくりを推進する。
- 2 研究や研修を深め、「自分から進んで」物事に取り組む児童の育成を目指す。
- 3 児童の人権・生命を尊重するとともに個人情報管理の適切な管理に配慮し、健康で安全・安心な学校づくりを推進する。
- 4 各校務分掌の協力体制の構築と情報の共有に努め、「共通理解・共通行動」「報告・連絡・相談・確認」を綿密に行い、組織的に活動する学校づくりを推進する。
- 5 法令を遵守するとともに、教職員としての使命と責任、児童や保護者から寄せられる期待を強く自覚し、「迅速・誠実・アフターケア」を旨として職務に当たる。
- 6 校舎内外の諸施設の整備と美化に力を入れ、清潔で魅力的な教育環境を実現する。
- 7 各種教育ボランティアとの連携を強めるとともに、地域や自治会等の諸活動との協力を深め、教育活動の充実と向上に生かす。

III 本年度の重点

－「自分から進んで」物事に取り組む児童の育成－

1 学校教育目標の具現化を図るきめ細かな学年・学級経営の推進

- (1) 自己申告・学年経営案・学級経営案・学習指導経営案を活用し、見通しをもった効果的な指導を展開する。
- (2) 確かな児童理解に努め、児童と教師の信頼関係及び児童相互の好ましい人間関係を基盤とする学年・学級経営を推進する。
- (3) 専科等との協調・連携を大切にし、「共通理解・共通行動」を基盤とした学年経営を推進する。
- (4) 児童一人ひとりの自主的、実践的な態度の育成を目指す学級経営を推進する。
- (5) 児童一人ひとりのよさや可能性を伸ばし、満足感や所属感のもてる学級経営を推進する。

2 「生き生きと学ぶ」主体的、創造的な学習活動の展開

- (1) 基礎的・基本的事項が確実に身に付くよう指導方法を工夫し、基礎学力の定着と向上を図る。
- (2) 複数の教師による指導や少人数指導など指導形態の工夫によるきめ細かな指導の充実を図る。

- (3) 体育科・特別活動を窓口として、自分から進んで学び活動する児童の育成を図るとともに、互いに学び合い、高め合う学習活動を推進する。

3 児童一人ひとりのよさを生かし豊かな心をはぐくむ教育活動の展開

- (1) 本校の特色ある教育活動である「おはよう活動（駅前清掃活動）」や「きらめきメール」などの内容の充実に取り組む。
- (2) 吹奏楽部の活動や音楽朝会、ミニライブなどの活動を充実し、音楽への興味関心を高める。
- (3) 図書ボランティアによる読み聞かせなど、児童が自分から進んで読書に取り組む活動の充実に取り組む。
- (4) 硬筆や書き初め、走力向上・持久走などの課外練習の系統的・効果的な運営に努め児童の意欲を育てる。
- (5) 道徳教育の「要」となる道徳の時間の充実といじめを許さない教育の推進に努める。

4 児童会活動や児童の体験活動の充実

- (1) 委員会活動・クラブ活動の計画的な実践に心掛けるとともに、委員会活動における児童の自主的・日常的実践活動の広がりを実現する。
- (2) 校外学習や体験学習を効果的に組み入れ、日常の学習の総合的な発展に結び付ける。

5 児童理解を深め、一人ひとりの成長を支援する生徒指導の充実

- (1) 「あおぎりっ子5つのやくそく」の指導を各学年において具体化するとともに、あいさつ、返事などで「Smile」「Big voice」「Eye contact」を徹底する。
- (2) 家庭訪問やニコニコ相談、個人面談などの機会を積極的に活用して、児童理解を促進するとともに、保護者との信頼関係を醸成する。
- (3) 日頃から児童の友達関係に注意を払うとともに、積極的に声を掛けたり悩みや相談に真摯に耳を傾けたりして、いじめやトラブルの未然防止と早期発見・早期対応に努め、迅速で組織的な生徒指導を展開する。
- (4) 「いのちの支え合い」を学ぶ授業（5，6年）を実施するとともに児童の心のサポート体制の充実に努める。

6 特別支援学級「みやのこ」の指導の充実と特別支援教育体制の整備

- (1) 障害の程度に応じた効果的な指導を展開する。
- (2) 通常学級と特別支援学級との積極的な交流を進める。
- (3) 個別の支援計画の活用を通して、全教職員が児童の変容と成長を見届けることができるようにする。
- (4) 関係機関と連携し、児童一人ひとりの教育的ニーズに応じた指導の充実に努める。

7 学校安全ネットワーク体制の充実

- (1) 日常的な防犯・安全指導を展開し、特に登下校時の防犯や安全に対する児童の意識を高める。
- (2) 登校指導や通学班指導などを通して、児童の実態に即した安全教育を進める。
- (3) PTAや防犯ボランティア、各自治会の見守り活動と連携した学校安全ネットワーク体制の充実に努める。

8 教育環境の整備と開かれた学校づくりの推進

- (1) 児童が楽しく意欲的に学ぶことができる、清潔で整頓された学習環境を整備する。
- (2) 学年園や花壇、校内の緑地帯の美化を進め、花と緑に囲まれた「きれいな学校」をつくる。
- (3) 教育ボランティアやゲスト・ティーチャーなど、地域や学校外の指導者を招いた授業や活動を積極的に導入して、児童の学習活動の広がりを図る。
- (4) 中学校や幼稚園との連携を図り、中学生や園児との交流を推進する。